報道機関配付資料　安城市

件名　西三河５市で共同導入した給排水工事の電子申請の取組が水道イノベーション賞で特別賞を受賞

令和８年１０月２２日

西三河５市（豊田市、岡崎市、安城市、西尾市、知立市）でＤＸの広域連携として行った「給排水工事オンライン申請システムの共同導入」の取組が、公益社団法人日本水道協会「水道イノベーション賞」（※）で特別賞を受賞しました。

（※）「水道イノベーション賞」

現在の水道界が抱えている、老朽施設の耐震化を含めた更新・再構築、巨大地震等の自然災害の備え、技術の継承、人口減少社会到来への対応など多くの課題に対し、様々な工夫を持って克服に取り組む事例を紹介することにより、日本の水道界が新たな取組に着手する気運を高めることを目的として、日本水道協会が実施しているもの。（令和８年度応募数：１１）

記

１　受賞取組名

給排水工事オンライン申請システム（※）の共同導入

～西三河５市によるデジタル広域連携～

（※）指定工事事業者等が行う給排水工事に関する申請がインターネット上でできるシステム（運用開始：令和７年４月１日）。

詳細は２ページ目参照

２　受賞理由

日本水道協会発表の選考結果（３ページ目）参照

問合せ　安城市役所上下水道部水道工務課給水係

電話（直通）０５６６－７１－２２５０

給排水工事オンライン申請システムの共同導入
～西三河5市によるデジタル広域連携～

豊田市・岡崎市・安城市・西尾市・知立市

全国初!

広域化×上下水道一体×DX

1. 抱えていた課題

自治体・・・



✓**業務効率化**
担当部署の時間外勤務が常態化

✓**スペース最適化**
書類保管で多大なスペースを使用

✓**DXコスト抑制**
課題解決のためシステム導入が必須

工事業者・・・



✓**生産性向上**
給排水工事を担う業者の多くは
中小企業であり、人手不足が深刻

2. 取組概要

-令和2年10月
豊田市が愛知県内の全自治体に「給排水工事オンライン申請システム」の広域導入を提案。累計44自治体により、導入検討開始

-令和6年3月
岡崎市・安城市・西尾市・知立市と共同導入協定締結

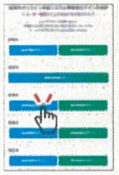
-令和6年5月
5市合同で受託者選定

-令和6年7月
受託者と契約締結

-令和7年4月
同時運用開始



合同プロポーザルの様子





共通トップページ　図面への赤入れ機能

3. 取組の効果

自治体



大幅なコスト削減
初期経費：35%
経常経費：65%



業務効率の向上
窓口・電話対応の削減
修正指示の効率化



環境負荷の低減
年間最大90tの
CO_2削減

工事業者



来庁に要する費用削減
3,000円/件の削減



24時間365日申請可能
来庁不要で、時間や
場所に縛られない



簡単で使いやすい
統一プラットフォーム
による効率的アクセス

運用開始1年経過後のオンライン申請率：**約80%**
（令和7年度豊田市実績）



工事業者

市役所へ行くことなく、会社や自宅にいながら申請業務を行えるため、大変便利です。また、従来の紙による申請に比べて、許可が下りるまでの時間も短く感じます。

4. PRポイント

ポイント❶　課題解決力・実現難易度

- 広域連携で**業務効率化・コスト削減・利便性向上**を実現
- 異なる業務プロセス・セキュリティポリシーを調整し、**地域全体のシステムを統一**
- 戦略的なプロモーション、プロポーザル審査基準の整備、交付金の活用で**財政負担を最大限軽減**

ポイント❷　展開性・汎用性

- **44自治体のニーズ**を反映した**汎用性の高い**システム設計
- **スケールメリット**を活かした調達で、費用面・技術面で有利な提案を享受

ポイント❸　中小規模事業者としての取組

- 都道府県でも政令指定都市でもない豊田市が中小規模事業者をリードし、**地域のあるべき姿**を追求
- **相互支援体制**が築かれ、地域内での協力関係が強化
- さらなる効率化とサービス品質向上に向けた基盤を確立

別紙　1

令和８年度水道イノベーション賞　　受賞理由

大賞　福岡地区水道企業団

日本初！浸透圧発電の実用化

海水淡水化の過程で生じる「濃縮海水」と下水処理場から排出される「下水処理水」、二つの水の塩分濃度差により生じる浸透圧を利用し、水車を回して発電を行う「浸透圧発電」の実用化を図った取組である。

海水淡水化には大きな電力負荷が生じるため、省エネや脱炭素化が重要な課題となっており、また、生産過程で生じる高塩分濃度の「濃縮海水」についても、有効な活用方法が見出せない状況にあった。

浸透圧発電の実用化により、濃縮海水と下水処理水の未利用資源に新たな付加価値を創出した国内初の取組であり、脱炭素社会の実現に資するほか、技術展開も期待できる先進的な取組であり、大いに評価できる。

特別賞　豊田市上下水道局、岡崎市上下水道局、安城市上下水道部、西尾市上下水道部、知立市上下水道部

給排水工事オンライン申請システムの共同導入
～西三河５市によるデジタル広域連携～

西三河５市で給排水工事のオンライン申請システムを共同導入した取組である。

これまで給排水工事申請は紙ベースで審査業務を行っており、業務効率化、スペース最適化、DX コスト抑制などの課題を抱えていた。豊田市、岡崎市、安城市、西尾市、知立市はこれらの課題を解決するため給水装置工事と排水設備工事に関する電子申請システムの共同導入を行った。

電子申請によって自治体が行う審査事務の効率化や申請者の利便性向上につなげるとともに、コストの縮減を図った取組であり、複数の事業体での共同導入は他都市の模範ともなるため、大いに評価できる。